

第 6 回 大臣表彰受賞者一覧

1	東京大学高齢社会総合研究機構	東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県釜石市及び被災者を受け入れた遠野市において、仮設住宅地を一つの「まち」として捉え、地域交流、デイサービス、診療等の機能を有するサポートセンターを含め一体的に整備する「コミュニティケア型仮設住宅地」を提案して実現するなど、先駆的な事業に取り組んだ。
2	特定非営利活動法人 秋田バリアフリーネットワーク	秋田県内各地において公共施設等のバリアフリー実態調査を継続的に実施して関係者に改善提案を行うとともに、バリアフリーに関する普及・啓発活動を行う「人にやさしいまちづくりinあきた」を毎年開催するなど、行政との連携のもと、長年にわたり地域に密着したバリアフリー活動に精力的に取り組んだ。
3	静岡鉄道株式会社／静岡市	交通事業者と地方公共団体が連携して、老朽化した商業施設の建替えと鉄道・バスターミナルとの一体的な再開発事業を実施するとともに、電線地中化等の周辺整備を行うことにより、乗り継ぎの円滑化や歩行者回遊性を向上し中心市街地の活性化にもつなげるなど、全国の地方都市の模範となる一体的なバリアフリー化に取り組んだ。
4	ユニバーサルドライバー研修推進実行委員会	タクシー事業者団体が業界を挙げて乗務員教育に力を入れ、タクシー乗務員による高齢者、障害者等への接遇や介助を向上するための「ユニバーサルドライバー研修」を企画・実施するなど、全国への波及効果が期待される取り組みを実施した。
5	特定非営利活動法人 海の達人	障害者、健常者が共に海の魅力を味わい楽しめる機会を提供する場として「海のバリアフリーまつり」を毎年開催することや、現場のアイデアや創意工夫を取り入れたマリナーのバリアフリー化を推進するなど、全国的にもユニークな取り組みを行い、障害の有無に関わらず、誰もが安全に海を楽しめる環境づくりに取り組んだ。